

優秀者は即内定！「PR TIMES HACKATHON 2023 Summer」 エンジニア志望学生向けにオフラインで開催

- 8月23日～25日開催。最優秀賞は年収500万円以上の中途採用基準で内定 -



プレスリリース配信サービス「PR TIMES」等を運営する株式会社 PR TIMES（東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証プライム：3922）は、エンジニア志望学生（大学、大学院、短期大学、専門学校、高等専門学校生）を対象とした3日間にわたる「PR TIMES HACKATHON 2023 Summer」を2023年8月23日(水)、24日(木)、25日(金)にPR TIMES 本社（赤坂インターシティ 8F）にてオフライン開催いたします。2020年からはコロナ禍によりオンラインで実施しており、オフラインでの実施は4年ぶりとなります。対象者からの参加エントリーは2023年7月31日(月)まで、下記ページにて受け付けます。

「PR TIMES HACKATHON 2023 Summer」応募フォーム：<https://tayori.com/f/pth-2023summer-apply/>

4年ぶりのオフライン開催。参加者同士のコミュニケーションを活発に

「PR TIMES HACKATHON」とは、2016年より当社開発職の新卒採用と自ら行動する学生へ成長機会を提供することを目的に開催している内定直結ハッカソンです。今回のハッカソンでは、参加者同士でチームを組み新規サービスや新規機能を開発していただきます（詳細後述）。2023年3月の開催では、2023年度卒業の7名に内定を出し、現在の開発本部には、ハッカソンを通じて入社した新卒社員が14名在籍しています（2023年5月時点）。

早期から各サービスの開発リーダーを務めたり、外部企業が主催するカンファレンスへ登壇したりするなど、様々な方面で活躍しています。過去開催の様子や日々の活動については、開発本部メンバーによる「開発者ブログ」で発信しています。

◆PR TIMES 開発者ブログ：<https://developers.prtimes.jp/>

10回目の開催となる今回は4年ぶりにオフラインで開催します。2020年以降はコロナ禍によりオンラインで開催しておりましたが、オフライン開催の再開により、会場にいる当社エンジニアからのアドバイスを直接受けられたり、参加者同士のコミュニケーションが活性化したりするなど対面ならではの密な連携が取れると考えています。（遠方からご参加の場合は、往復交通費とハッカソン期間中の宿泊施設を含めて当社負担）

また、「PR TIMES HACKATHON」は、当社の新卒採用の選考を兼ねており、ハッカソンで発揮された技術力と個人面談による人事評価、適正など複数の観点から「個人賞」を選出いたします。「個人賞」の受賞者には、卒業予定年度の内定をお出しします。その中でも最終優秀賞に輝いた方には、年収500万円以上の中途採用の基準で内定をお出しします。内定はあくまで個人賞受賞者の権利であり、就職意向に関わらずご参加いただけます。

また、ハッカソンで開発していただいた作品の技術レベルやコンセプト、完成度などの観点から「チーム賞」

も選出いたします。チーム賞を受賞された方々には、景品をご用意しております。他者と協力しながら一つの作品を完成させるチーム開発の経験が accrue する機会として、ぜひご参加ください。

◆22 卒エンジニアに聞くハッカソンの醍醐味：https://prtimes.co.jp/cross-talk/hachathon_2022/

開発の楽しさを感じ、学びに繋がるハッカソンを目指して<スケジュール>

今回のハッカソンは、これまでのハッカソンを通じて入社した若手エンジニアが主導して企画、運営しています。実際に同じハッカソンを経験している社員ならではの視点で協議を重ね、参加者の皆様に開発の楽しさを感じていただきながら、その後の行動を後押しできるような開催形式へと刷新いたしました。以下、今回より刷新した内容を紹介いたします。

事前のチーム決めとテーマ発表で初日から開発に集中できるスケジュールに

ハッカソンでは、3日間で一から開発を行い、最終日に発表会を実施します。参加者の皆様が開発に集中でき、より完成度を上げられるよう8月10日（木）のオンライン説明会で事前のチーム決めと開発テーマを発表いたします。その上で、8月11日（金）～8月22日（火）までを準備期間とし、当社が招待するチャットツール上で、当日に向けたチーム内でのアイデア出しや、技術選定の期間に活用いただけます。

ハッカソン 2 日目には、当社社員との個人面談の実施も予定しています。この面談では、ハッカソンの感想に加えて現在取り組まれている活動やキャリア像などについてお伺いします。

日程	8月10日	8月11日～8月22日	8月23日	8月24日	8月25日	8月25日～
開催場所	オンライン		PR TIMES 本社（赤坂インターシティ）			オンライン（任意）
コンテンツ	チーム決め テーマ発表	アイデア出し 技術選定	開会式 開発	開発 個人面談	開発 発表会 懇親会 表彰式	アフターサポート

卒業予定年度にかかわらず、全ての学年を募集対象に拡大

過去に開催した「PR TIMES HACKATHON」では、特定の学年を対象に募集をしていましたが、年齢や年次に関係なく、エンジニアを志望する全ての学生（大学、大学院、短期大学、専門学校、高等専門学校生）を応援したいという思いから、卒業予定年度に関係なく参加いただけるよう募集対象を拡大しています。

参加者のその後の学びを後押しするアフターサポートを実施

私たちはこのハッカソンに参加者の皆様の成長の機会となる場にしたいと考えています。ハッカソンの中で開発していた作品が完成しきれずに途中で終わってしまった方や、ハッカソンの経験を今後の活動へ活かす方法を知りたいという方に向けてアフターサポートを実施します。ハッカソン開催後から一定期間、チャットツールを通じて当社エンジニアがご相談を受け付け、参加者のその後の学びを後押しします。

自由な発想を促す幅広いテーマ設定

これまでのハッカソンでは、PR TIMES の API を活用した機能開発を中心にテーマ設定していましたが、参加者の自由な発想による新規開発を促すため、PR TIMES のサービスにかかわる機能開発に限定せず、幅広いテーマを開発対象に設定いたします（テーマ例：流行りのもの）。また、公平性を保つためにテーマ発表を参加確定後のオンライン説明会時に行う予定です。

申込方法・開催概要

1. 申込フォームより応募（申込締切：2023年7月31日(月)）

以下の URL より必要事項を明記の上、ご応募ください。申込フォームではご自身の技術的なアウトプットが確認できる URL をご提出いただきます。

<https://tayori.com/f/pth-2023summer-apply/>

2. 当社からの参加確定連絡とチャットツール招待

申込フォームでご記入いただいた内容を事務局で確認後、参加確定のご連絡とチャットツールへの招待リンクをメールでご案内させていただきます。

3. チャットツール参加

チャットツールへのご参加をもって、参加確定となります。こちらのチャットツールにて、8月10日（木）開催のオンライン説明会に向けた指定のオンライン URL をご案内いたします。

※ご提出いただいた技術的なアウトプットが確認できる URL ついて、場合により当社より再確認のご連絡をさせていただく可能性がございます。

※定員に達し次第募集を予定よりも早く募集を締め切らせていただく可能性がございます。予めご了承ください。

【開催概要】

オンライン説明会：2023年8月10日(木) ※都合が合わない場合は個別に対応いたします (*参加確定者対象)

開催日時：2023年8月23日(水)、24日(木)、25日(金)の3日間 (全日 10:00-19:00 予定)

開催場所：PR TIMES 本社 (赤坂インターシティ 8F)

募集上限：30名

応募職種：エンジニア

応募条件：・学生であること (大学、大学院、短期大学、専門学校、高等専門学校生 / 年次・学部・学科不問)

・就業経験がない方 (インターン・アルバイトを除く)

・Web 開発の経験もしくはアプリケーション開発の経験がある方

・GitHub のアカウントを所有しているもしくは作成できる方

参加費用：無料 (遠方からご参加の場合は、往復交通費とハッカソン期間中の宿泊施設を含めて当社負担いたします)

開催コンテンツの詳細やその他の Q&A は以下のページにて順次更新予定です。

<https://tayori.com/q/pth-2023summer-qa/>

「PR TIMES HACKATHON 2023 Summer」開催に向けて<担当者コメント>

PR TIMES HACKATHON プロジェクトリーダー 鈴木雄大

2019年のPR TIMES HACKATHON で最優秀賞を受賞後、2020年4月にフロントエンドエンジニアとして入社。現在は、企業ページとPR TIMES HACKATHON のプロジェクトリーダーを務めている。

<コメント>私自身、PR TIMES HACKATHON から入社した社員の一人です。そういった背景から、より学生に楽しんでいただきつつ、今後のキャリアや人生の分岐点にしていきたいと思います。私だけでなく、運営メンバーも同じ志を持って準備を進めています。ハッカソンに興味があったけど今まで参加したことがない方やチーム開発の経験がない方にも楽しんでいただけるよう、全力のサポートを提供しますので、たくさんのご応募お待ちしております！



PR TIMES の開発本部

開発本部には、開発チーム・インフラチーム・QA チーム・コーポレートチーム・プロダクトチームの5つがあり、それぞれのメンバーが専門性を活かしながら、PR TIMES をはじめ各サービスへの機能追加・改善を行っています。また、技術力を高め続けるために、社内 ISUCON やエンジニア勉強会など日常的に取り組んでいます。

2023年1月には福岡県・福岡市に開発部門が主体となるサテライトオフィスを開設いたしました。現地での U・I ターン希望のエンジニア採用の強化し、サテライトオフィスでのエンジニア交流会やイベント開催も今後実施予定です。「PR TIMES」が社会的な情報インフラと呼べる状態を目指し、今後も PR TIMES 一丸となって、事業の持続的な成長、ミッションの実現を目指してまいります。

PR TIMES 開発者ブログ：<https://developers.prtimes.jp/>



PR TIMES 開発本部メンバー

株式会社 PR TIMES について

PR TIMES（読み：ピーアールタイムズ）は、「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」をミッションに掲げ、「行動者」のポジティブな情報がニュースの中心となり、個人を勇気づけ前向きにする社会の実現に挑んでいます。私たちは人の行動や頑張りの結晶を、その想いを紡いで発表するのがプレスリリースだと考え、企業規模を問わず「行動者」が自ら発信できる、PRの民主化を目指して事業を展開しています。プレスリリース配信サービス「PR TIMES」の利用企業社数は7万9000社を超え、国内上場企業の53%超に利用いただいています。情報収集のため会員登録いただくメディア記者2万5000人超、サイトアクセス数は月間約7500万PV、プレスリリース件数は月間3万件超、累計で100万件を超えています。全国紙WEBサイト等含むパートナーメディア230媒体以上にコンテンツを掲載しています（2023年2月時点）。



他にも、ストーリーで伝える「PR TIMES STORY」、動画で伝える「PR TIMES TV」、PR活動の設計から実行まで伴走するPRパートナー事業、「isuta」「STRAIGHT PRESS」等のニュースメディア事業で、情報発表とその伝播を支援する他、生まれた企画が発表に至るまで前進できるよう支えるタスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」、さらに発表後のお客様対応や情報整理を円滑に行えるカスタマーサポートツール「Tayori」など、「行動者」を立体的に支える事業を運営しています。

また子会社には、スタートアップメディア「BRIDGE」を運営する株式会社 THE BRIDGE、ソフトウェア受託開発を行う株式会社グルコースがあります。

【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション：行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

会社名：株式会社 PR TIMES（東証プライム 証券コード：3922）

所在地：東京都港区赤坂1-11-44 赤坂インターシティ 8F

設立：2005年12月

代表取締役：山口 拓己

- 事業内容：
- プレスリリース配信サービス「PR TIMES」 (<https://prtimes.jp/>) の運営
 - ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」 (<https://prtimes.jp/story/>) の運営
 - 広報・PRの効果測定サービス「Webクリッピング」 (<https://webclipping.jp/>) の運営
 - クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR支援の実施
 - 動画PRサービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」 (<https://prtimes.jp/tv>) の運営
 - アート特化型オンラインPRプラットフォーム「MARPH」 (<https://marph.com/>) の運営
 - カスタマーサポートツール「Tayori」 (<https://tayori.com/>) の運営
 - タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」 (<https://www.jooto.com/>) の運営
 - 広報PRのナレッジを届けるメディア「PR TIMES MAGAZINE」 (<https://prtimes.jp/magazine/>) の運営
 - Webニュースメディア運営、等

URL：<https://prtimes.co.jp/>

PR TIMES